

## 雲南省概況

## 1. 一般概要

## (1) 概要（人口、面積、主要産業）

省名	雲南省（省都：昆明市）			
面積	39.4万k㎡（日本とほぼ同じ）			
人口	常住人口	4,830万人	出生率 *1	13.19‰ *4
	人口密度	123人/k㎡	死亡率 *2	6.32‰
			自然増加率 *3	6.87‰

（出所：2018年雲南省国民経済・社会発展統計公報）

\*1:人口1,000人当たりの生まれた子どもの割合      \*2:人口1,000人当たりの死亡した人の割合

\*3:人口1,000人当たりの出生率と死亡率の差し引き      \*4:千分率（1/1000）

2018年における雲南省の常住人口は4,830万人であった。都市化率は47.81%と、2017年比で1.1ポイント上昇した。雲南省は少数民族の人口に占める割合が約3分の1を占め、少数民族自治区以外では少数民族の人口が最も多い省となっている。

面積は、39.4万k㎡で、中国全体に占める割合は4.1%。全国第8位の面積を有する。日本（37.8万k㎡）とほぼ同じ大きさとなっている。

2018年の域内総生産（GRP）は、1兆7,881億元、成長率は8.9%と全国の成長率（6.6%）を2.3ポイント上回った。内訳をみると、第一次産業は2,499億元（前年比6.3%増）、第二次産業は6,957億元（同11.3%増）、第三次産業は8,425億元（同7.6%増）となっており、第三次産業の割合が47.1%と最も大きい。

## ○ 基礎的経済指標（2018年）

- ・ 域内総生産（GRP） 1兆7,881億元（前年比8.9%増）
  - \* 中国全体のGDPは 90兆0,309億元（前年比6.6%増）
- ・ 1人当たりのGRP 3万7,136元（前年比8.2%増）
  - \* 中国全体の1人当たりのGDPは 6万4,644元

## (2) 沿革

紀元前3世紀に「滇（てん）王国」が建国された。三国時代には「蜀漢」の一部になり、6～7世紀には「南詔国」が、10世紀には「大理国」が当地域に建国された。その後、「元」のフビライによって大理が征服され、1276年に元の地方機関である雲南行省が設置された。近代に入ると1929年国民党政府の蒋介石が龍雲を雲南省政府主席に任命し、支配を確立した。1949年12月からは中国共産党による統治が開始され、翌1950年に正式に雲南省人民政府が成立した。

### (3) 地理・気候

中国西南部の国境沿いに位置しており、ミャンマー、ラオス、ベトナムの3カ国と国境を接する。東は貴州省、広西チワン族自治区、南はラオス、ベトナム、西はミャンマー、チベット自治区、北は四川省と接する。

気候は、基本的には温暖湿潤気候に属するが、緯度や標高の違いによって様々な気候帯に属する。標高の高低による気温の差が顕著であり、2016年の平均気温は17.2度。1年が乾季と雨季に明確に分かれており、雨季に当たる5～10月に年間降水量の85%が集中する。

### (4) 政治体制

#### ・行政区画 8市8自治州

昆明市、曲靖市、玉溪市、保山市、昭通市、麗江市、普洱（プーアール）市、臨滄市、楚雄イ族自治州、紅河ハニ族イ族自治州、文山チワン族ミャオ族自治州、シーサンパンナ・タイ族自治州、大理ペー族自治州、徳宏タイ族チンポー族自治州、怒江エリス族自治州、デチェン・チベット族自治州

#### ・中国共産党雲南省委員会

書記：陳豪

副書記：阮成発、王予波

#### ・雲南省人民政府

省長：阮成発

副省長：宗国英（常務）、王顯剛、董華、陳舜、張国華、任軍号、和良輝、李瑪琳

秘書長：楊傑

## 2. 経済・産業

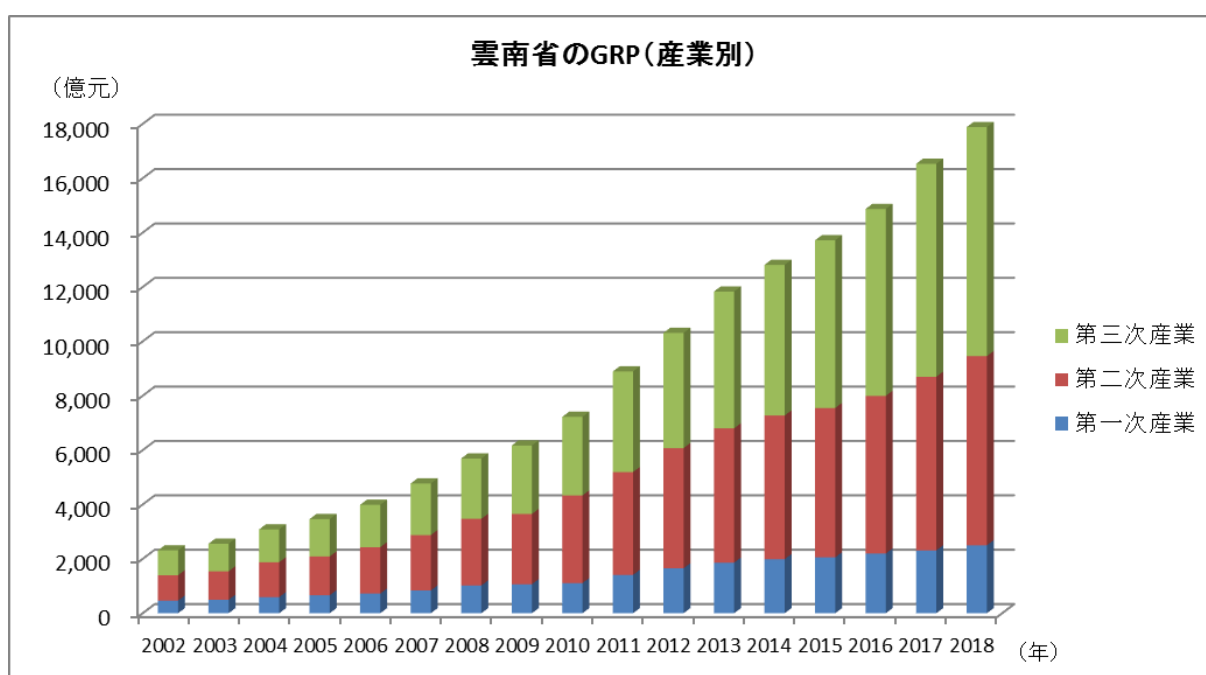
### (1) 総論

2018年におけるGRPの内訳をみると、第一次産業が2,499億元（前年比6.3%増）、第二次産業が6,957億元（同11.3%増）、第三次産業が8,425億元（同7.6%増）となっている。第三次産業のウェイトが、47.1%と最も高い。

GRPにおける産業割合の推移 (単位：億元、カッコ内はGRPに占める各産業のシェア(%) )

年	GRP	第一次産業		第二次産業		第三次産業	
2002	2,312.8	463.4	20.0	934.9	40.4	914.5	39.5
2003	2,556.0	494.6	19.4	1,047.7	41.0	1,013.8	39.7
2004	3,081.9	593.6	19.3	1,281.6	41.6	1,206.7	39.2
2005	3,462.7	661.7	19.1	1,426.4	41.2	1,374.6	39.7
2006	3,988.1	724.4	18.2	1,705.8	42.8	1,557.9	39.1
2007	4,772.5	837.4	17.5	2,038.4	42.7	1,896.8	39.7
2008	5,692.1	1,020.6	17.9	2,452.8	43.1	2,218.8	39.0
2009	6,169.8	1,067.6	17.3	2,582.5	41.9	2,519.6	40.8
2010	7,224.2	1,108.4	15.3	3,223.5	44.6	2,892.3	40.0
2011	8,893.1	1,411.0	15.9	3,780.3	42.5	3,701.8	41.6
2012	10,309.5	1,654.6	16.0	4,419.2	42.9	4,235.7	41.1
2013	11,832.3	1,860.8	15.7	4,939.2	41.7	5,032.3	42.5
2014	12,814.6	1,990.1	15.5	5,281.8	41.2	5,542.7	43.3
2015	13,717.9	2,055.7	15.0	5,492.8	40.0	6,169.4	45.0
2016	14,870.0	2,195.0	14.8	5,799.3	39.0	6,875.6	46.2
2017	16,531.3	2,310.7	14.0	6,387.5	38.6	7,833.1	47.4
2018	17,881.1	2,498.9	14.0	6,957.4	38.9	8,424.9	47.1

(出所：雲南統計年鑑【各年版】、2018年雲南省国民経済・社会发展統計公報)



## (2) 経済成長率

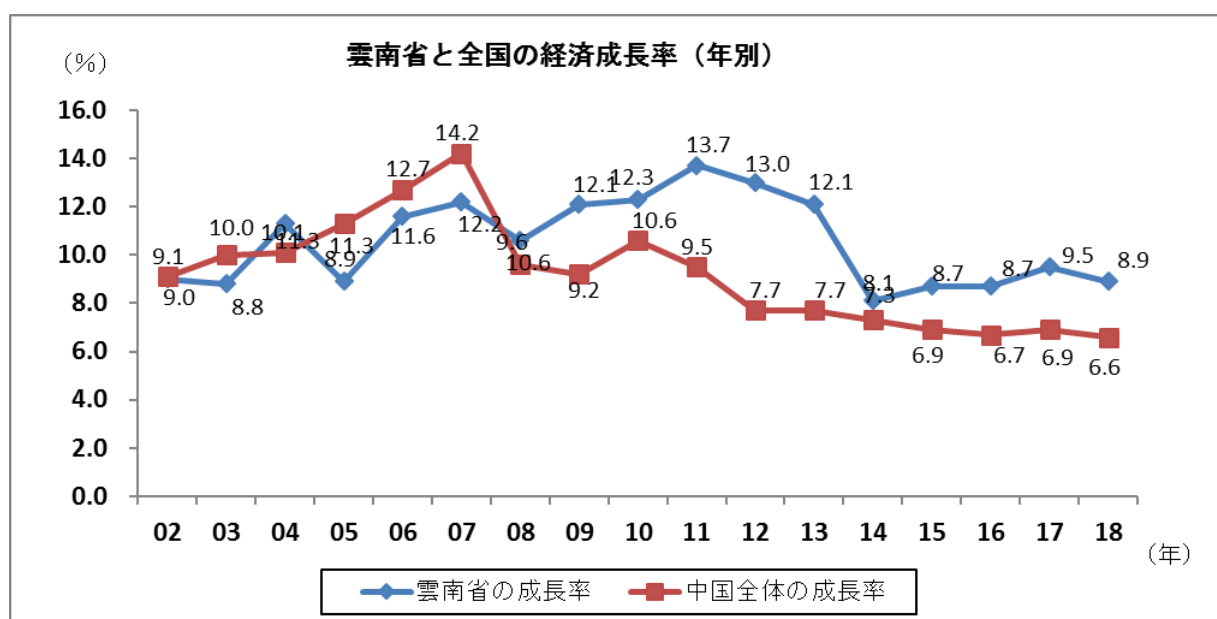
雲南省の2018年の成長率は8.9%と、中国全体の成長率(6.6%)を2.3ポイント上回った。

### 雲南省と中国全体の経済成長率の推移

(単位:%)

	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
雲南省の成長率	9.0	8.8	11.3	8.9	11.6	12.2	10.6	12.1	12.3	13.7	13.0	12.1	8.1	8.7	8.7	9.5	8.9
中国全体の成長率	9.1	10.0	10.1	11.3	12.7	14.2	9.6	9.2	10.6	9.5	7.7	7.7	7.3	6.9	6.7	6.9	6.6

(出所: 中国統計年鑑【各年版】、雲南統計年鑑【各年版】、2018年全国国民経済・社会発展統計公報、2018年雲南省国民経済・社会発展統計公報)



## (3) 主な進出企業

日系	池田糖化工業、大阪ガスエンジニアリング、三栄源エフ・エフ・アイ、島津製作所、日本通運、バイオジェニック、古河電気工業、丸紅、双日、岩手県など
その他 外資系	マイクロソフト、ペプシコ、ウォルマート、カルフル、カールスバークなど

## 2. 貿易

2018年の貿易額は299億ドル（前年比27.5%増）。うち、輸出額は128億ドル（同11.7%増）、輸入額は171億ドル（同42.5%増）となっている。

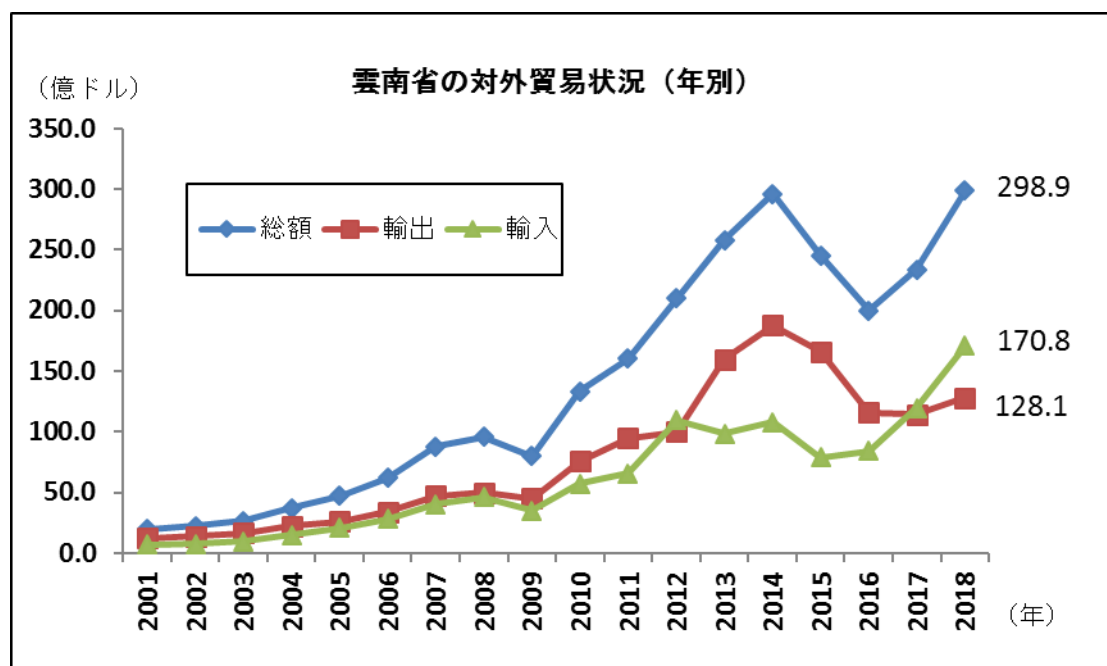
### 雲南省の対外貿易状況

（単位：億ドル）

	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
総額	19.9	22.3	26.8	37.5	47.4	62.3	87.8	96.0	80.2
輸出	12.4	14.3	16.8	22.4	26.4	33.9	47.4	49.9	45.1
輸入	7.5	8.0	9.9	15.1	21.0	28.4	40.4	46.1	35.1

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
総額	133.7	160.5	210.1	258.3	296.2	245.3	200.0	233.9	298.9
輸出	76.1	94.7	100.2	159.6	188.0	166.3	115.8	114.3	128.1
輸入	57.6	65.8	109.9	98.7	108.2	79.0	84.2	119.6	170.8

（出所：雲南統計年鑑【各年版】、2018年雲南省国民経済・社会発展統計公報）



### 3. 対内直接投資

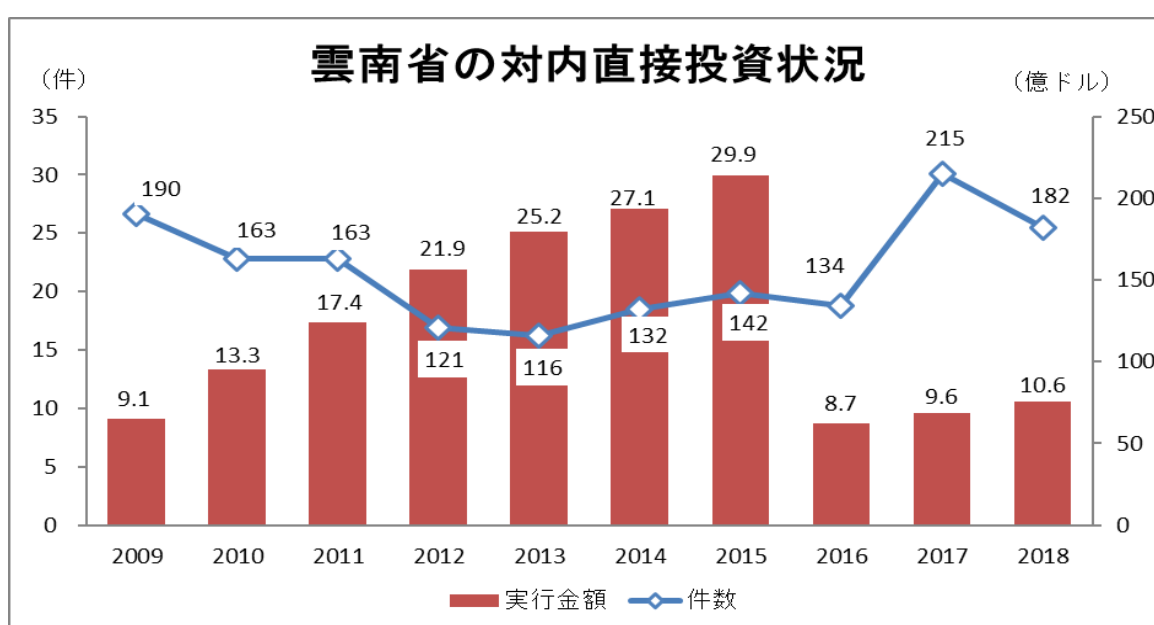
2018年の外国企業による直接投資は、契約件数が前年比15.4%減の182件、実行金額は10.4%増の10億5,600万ドルであった。

#### 雲南省の対内直接投資の推移

(単位：億ドル、件)

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
件数	190	163	163	121	116	132	142	134	215	182
実行金額	9.1	13.3	17.4	21.9	25.2	27.1	29.9	8.7	9.6	10.6

(出所：雲南統計年鑑【各年版】、2018年雲南省国民経済・社会发展統計公報)



### 4. 市民生活

2018年の消費者物価指数(CPI)は前年比で1.6%上昇した。また、都市部住民の1人当たり可処分所得は前年比8.0%増の3万3,488元、農村住民の1人当たり可処分所得は同9.2%増の1万0,768元であった。

#### (1) 都市部の登録失業率

2018年の都市部の登録失業率は3.4%となっている。雲南省の都市部登録失業率は近年3%台で安定して推移している。

#### 雲南省の都市部登録失業率の推移

(単位：%)

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
失業率	4.3	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	3.6	3.2	3.4

(出所：雲南統計年鑑【各年版】、雲南省人力資源・社会保障庁)

## (2) 平均可処分所得の推移

2018年における雲南省の都市部民営企業労働者の平均可処分所得は前年比8.0%増の3万3,348元/年(2,790.6元/月)となった。

## 5. 日本との関係

2016年の雲南省の日本との貿易総額は約2億900万ドル、うち日本への輸出額は1億6,800万ドル、日本からの輸入額は4,100万ドルであった。また、同年の日本から雲南省への直接投資実行額は600万ドルとなった。

一方、2016年の雲南省への来訪外国人数は延べ600万3,800人に達し、うち日本からの来訪者数は13万6,100人と、全体の約2.3%を占めた。

## 6. 中国全体における雲南省の位置付け (2018年)

項目	中国全体	雲南省	全国に占める割合 (%)
面積 (万k㎡)	960	39	4.1
人口 (万人、雲南省は常住人口)	139,538	4,830	3.5
GDP (億元、雲南省はGRP)	900,309	17,881	2.0
第一次産業	64,753	2,499	3.9
第二次産業	366,001	6,957	1.9
第三次産業	469,575	8,425	1.8
社会消費品小売総額 (億元)	380,987	6,826	1.8
海外からの旅行者数 (万人、延べ)	14,120	706	5.0
対内直接投資額 (億ドル、実行ベース)	1,350	11	0.8
貿易総額 (億ドル)	46,098	299	0.6
輸出額 (億ドル)	24,809	128	0.5
輸入額 (億ドル)	21,288	171	0.8

(出所：2018年全国国民経済・社会発展統計公報、2018年雲南省国民経済・社会発展統計公報)

## 7. 雲南省内各都市の人口・購買力・消費額（2016年）

雲南省の都市別人口・1人当たりGRP・1人当たり社会消費品小売総額ランキング

都市	年末 総人口(万人)	都市	1人当たり GRP(元)	都市	1人当たり社会消費品 小売総額(元)
昆明市	672.8	昆明市	64,156	昆明市	34,336
曲靖市	608.4	玉溪市	55,389	玉溪市	13,760
昭通市	547.5	デチエン・チベット族自治州	43,247	デチエン・チベット族自治州	11,195
紅河ハニ族イ族自治州	468.1	シーサンパンナ・タイ族自治州	31,338	楚雄イ族自治州	10,909
文山チワン族ミャオ族自治州	362.1	楚雄イ族自治州	30,948	シーサンパンナ・タイ族自治州	9,932
大理ペー族自治州	356.3	曲靖市	29,155	徳宏タイ族チンポー族自治州	9,637
楚雄イ族自治州	273.9	紅河ハニ族イ族自治州	28,588	大理ペー族自治州	9,346
普洱(プーアール)市	261.7	大理ペー族自治州	27,360	曲靖市	9,287
保山市	259.7	徳宏タイ族チンポー族自治州	25,150	文山チワン族ミャオ族自治州	8,940
臨滄市	252.0	麗江市	24,116	麗江市	8,163
玉溪市	237.5	保山市	23,654	紅河ハニ族イ族自治州	7,832
徳宏タイ族チンポー族自治州	129.4	怒江エリス族自治州	23,289	保山市	7,709
麗江市	128.5	臨滄市	21,906	臨滄市	6,893
シーサンパンナ・タイ族自治州	117.2	普洱(プーアール)市	21,737	普洱(プーアール)市	6,229
怒江エリス族自治州	54.4	文山チワン族ミャオ族自治州	20,362	怒江エリス族自治州	5,993
デチエン・チベット族自治州	41.0	昭通市	14,040	昭通市	4,340

(出所)2017年雲南省統計年鑑

年末総人口を見ると、人口が300万人を超える都市が6カ所、うち500万を越える都市が3カ所存在する。所得水準を人民元建ての1人当たりGRPで見ると、3万元以上の都市が5カ所存在する。また、消費水準を示す社会消費品小売総額を人口で割った1人当たり消費額を見ると、3万元以上の都市が1カ所、1万元以上の都市が4カ所存在する。

(注) 米ドルへの換算レートは、2018年人民元対ドルの年間平均換算レート：1ドル=6.6174人民元  
(出所：2018年全国国民経済・社会発展統計公報)